小学校・低学年編　第１部　８
「友だち　何人　できるかな」

１　学年　　　　第２学年

２　主題名　　　「音楽とともに」

３　内容項目　　１－（２）自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。

４　テーマ　　　Ａ　人としてあるべき姿

５　主題設定の理由

(1)　ねらいとする価値

児童が自立し、前向きによりよく生きていくためには、やるべきことはしっかりとやり抜く力や忍耐力が求められる。また、見通しなく取り組むのではなく、自分で目標や夢を掲げ、その達成に向けて取り組むことができるようにすることが大切である。

低学年の児童は、やらなければならないことを素直に受け入れ、特に周囲の励ましや賞賛によってより素直にがんばることができる時期と言える。しかし、自分で目標を立て、努力し続けることはなかなか難しい。この時期の児童が、夢を持つことのすばらしさを知り、それに向かってがんばることの大切さに気づくことは大きな意味があると考える。

まずは、身近なことから目標を立て、夢につながる何かを見付け、努力しようとする気持ちを育てたい。

(2)　資料について

ハープ奏者として多方面で活躍する内田奈織さんが小さい頃から音楽家になりたいという夢を持ち続け、努力して実現させた体験を語りかける。大好きな音楽、ハープを弾くことに出会い、好きなものに夢中になることのすばらしさやくじけず努力することで得られた喜びが伝わってくる。執筆者の「みなさんも、大すきなゆめを見つけて、つづけてくださいね。」というメッセージは、児童に明るい希望を与えることであろう。執筆者の姿を通して、夢や目標をもって努力することのすばらしさを知ると共に、夢に向かう前向きな気持ちを持てるようにしたい。

６　本時のねらい

自分の夢をもち、それに向かって努力し続けることを大切にする心情を育てる。

７　授業改善の視点

（１）視覚的・聴覚的資料を生かした導入の工夫

ハープの写真やハープを演奏する執筆者の写真を見せたり、ハープの音色を聴かせたりするなど、視覚的・聴覚的に興味・関心を高め、学習への意欲を持たせる。

（２）自己を振り返り、それを友だちと交流し合う時間を大切にした展開

執筆者の姿から学んだことをもとに、自分ががんばっていることについてこれまでや現在の様子を振り返らせる。また、それぞれ努力していることを交流することで、互いのがんばりを認め合い、これからの自分により前向きになれるようにしたい。

8　本時の展開

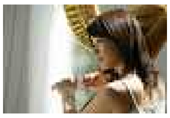
過程	学　習　活　動	主　な　発　問 予想される児童の反応	指導上の留意点	資料・評価等
導入	1 ハープについて知る。	**○この楽器を知っていますか。** ・知ってる。 ・はじめて見た。 **○音を聞いてどんな感じがしましたか。** ・やさしい感じ	・ハープの写真と音を提示し、音の感想を聞くなどして、関心を持たせる。	ハープの写真・音源
展開	2 資料を読んで、内容をとらえる。	**○幼稚園の頃の内田奈織さんはどんな子どもでしたか。** ・ピアノを習ってた。 ・音楽が好き。 ・ハープが気になっていた。 **○ハープをはじめた内田奈織さんは、途中、練習を続けながらどんなことを思ったでしょう。** ・指がいたいけど、楽しい。 ・友だちともっとあそびたい。 ・上手になりたい。 ・音楽家になりたい **◎内田奈織さんはハープ奏者になった今、どんなことを思っているでしょう。** ・がんばって、続けてきてよかった。 ・友だちができてうれしい。 **○お話を聞いて、内田奈織さんのことをどんな人だと思いますか。** ・がんばりやさん ・夢をあきらめない人	・筆者とハープとの出会いや音楽との出会いについて、つかませる。 ・くじけそうになる思いに共感させながら、それでも努力した筆者の夢への強い思いを感じさせる。 ・ある一つに向かって努力し続けることは辛いこともあるが、大きな喜びがあることに気づかせる。	筆者の写真 目標に向かって努力することの大切さに気づけたか。
	3 自分について振り返り、交流する。	**○みんなは、大きくなったら何になりたいですか。** ・ピアノの先生 ・野球選手 ・まだ決めてない。 **○これまでにがんばって続けてきたことやがんばってよかったと思うことはありますか。** ・毎日ピアノを練習して、発表会で成功した。 ・野球の練習を休まず、がんばっている。 **○これからがんばってみようと思うことを書きましょう。**	・アンケートをもとに発表させる。 ・身近なことで交流し、がんばっている友だちを認め、自分もがんばろうとする気持ちを持たせる。 ・発表に抵抗のある児童については、教師から紹介するなど、配慮する。	事前アンケート 振り返りカード これからの生活で、目標を持ち、がんばろうとする気持ちが持てているか。
終末	4 教師の話を聞く。		・身近な人や児童がよく知っている人物を取り上げ、紹介する。	

10　板書計画

友だち　何人　できるかな

ハープ

やさしい音　ふわふわしたかんじの音



内田　奈織さん
ハープそうしゃ

・ようち園のころ、ピアノをならいはじめた
・音楽がすきだった

ハープをれんしゅうしていたとき

・ゆびがいたいけど、楽しい
・友だちとあそびたい
・上手になりたい
・音楽家になりたい　↓

ゆめ

ハープそうしゃになった今、思うこと

・本当につづけてきて、よかった。
・たくさんの友だちと出会えてうれしい。
・やめたいと思ったことはない。

ゆめがかなえられた内田さんって…

・くじけない人
・あきらめない人
・ど力した人

写　真

☆みんなのゆめ　そのためにがんばっていることは？

11　児童の反応等

＜児童の感想（振り返りカードから）＞

　ぼくは、野きゅうをならっています。ぼくが、一番すきなスポーツは野きゅうです。ゆめは、プロ野きゅうせん手になることです。一年生のときから習っています。今、一年半やっています。これからもやめようという気持ちをもたずに、がんばってやっていきます。

　わたしは、内田奈織さんのお話を聞き、わたしも良いゆめを一つ見つけました。そのゆめは、バレーボールのせん手です。内田さんは、ゆめをかなえようと、毎日お友だちとあそべなくても、ちまめや水ぶくれができても、いつまでもがんばったのですごいと思います。
　わたしは、バレーボールのせん手になるために、なわとびをして、ジャンプ力をつけています。わたしも、内田さんのようにがんばる人になるようにがんばります。

　内田さんがようち園からピアノをはじめてたからすごいなとおもいました。それで、５年生からハープをはじめて毎日れんしゅうしてるのがすごいです。「音楽家になりたい」というきもちがあって、ほんとうになれたのがすごいとおもいました。
　ぼくも野きゅうをがんばっています。ぼくもプロ野きゅうせん手になります。

まじめな人で、あきらめない人で、れんしゅうを毎日毎日がんばっているのってすごいなと思いました。今は、家でのことだけど、二じゅうとびをできるように、あきらめずにがんばってれんしゅうしています。

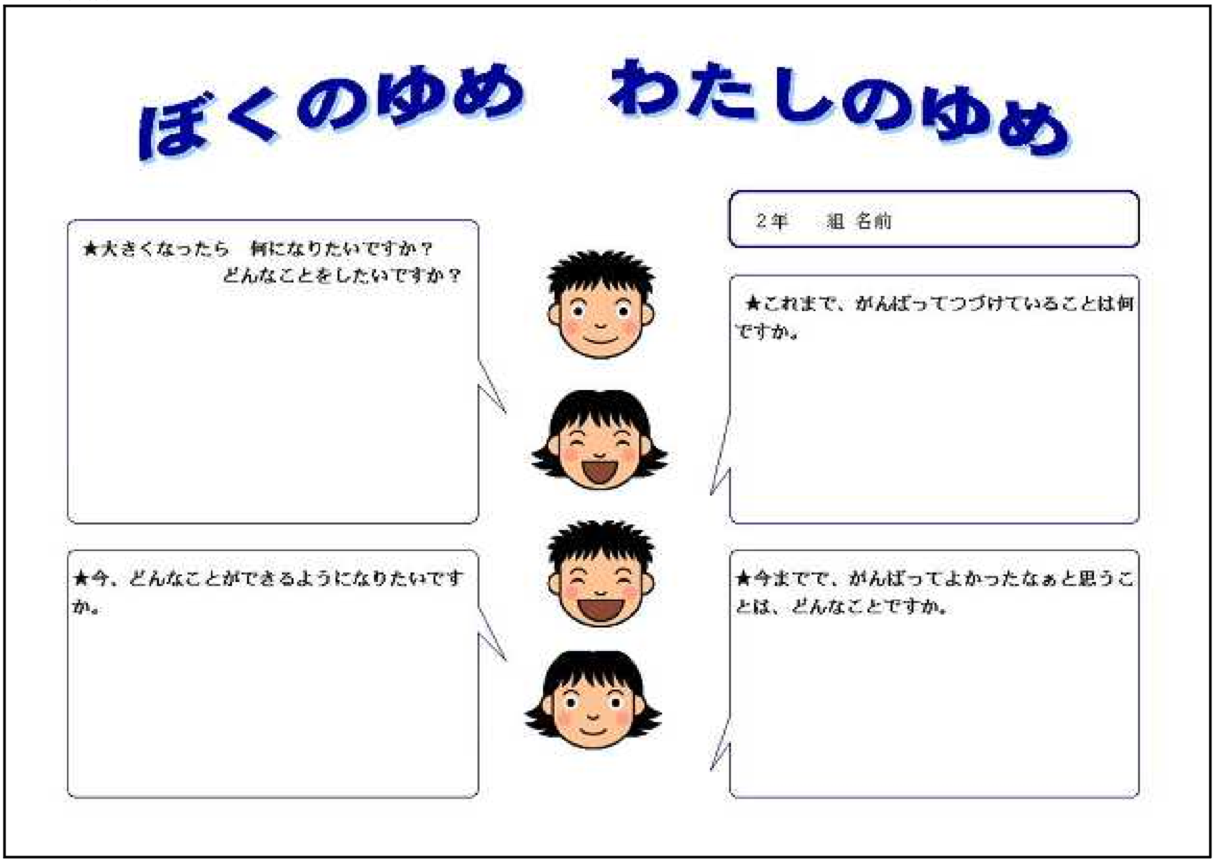
わたしは、内田なおりさんのお話を読んでこう思いました。ゆめは、あきらめなかったらかなうのかなと思います。わたしもいつか自分のゆめをかなえたいと思います。がんばりたいです。内田なおりさんは、すごいと思います。わたしのゆめはケーキやさんで、かなうかわからないけど、きっときっとがんばります。みんなもいっぱいゆめをもっているけど、その中でも一番がんばりたいなと思います。ゆめをかなえるためには、かなえようというきもちが大切なんだと思います。

＜授業者の振り返り＞

・児童は、執筆者の夢への熱い思いとそのための努力に対して、素直に感動し、自分もがんばろうという前向きな意見が多く出された。

・児童もそれぞれに夢を持っており、夢に向かって努力することのすばらしさは執筆者の姿を通して感じることができたと思われるが、具体的に、自分が夢に向かって何ができるか、どんなことが夢につながっていくのかを考え、目標を立てるところまでは難しかった。

・視覚的、聴覚的資料による導入は効果的であった。

・導入や展開前半の資料を扱う時間を大切にしながら、後半の交流の時間も確保していくためには、時間配分に十分気を付けて進めていく必要があると感じた。

＊事前アンケート